

1:25,000
0 500 1000m

「この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の2万5千分の1地形図を複製したものである。
(承認番号 平26情復、第211号)」

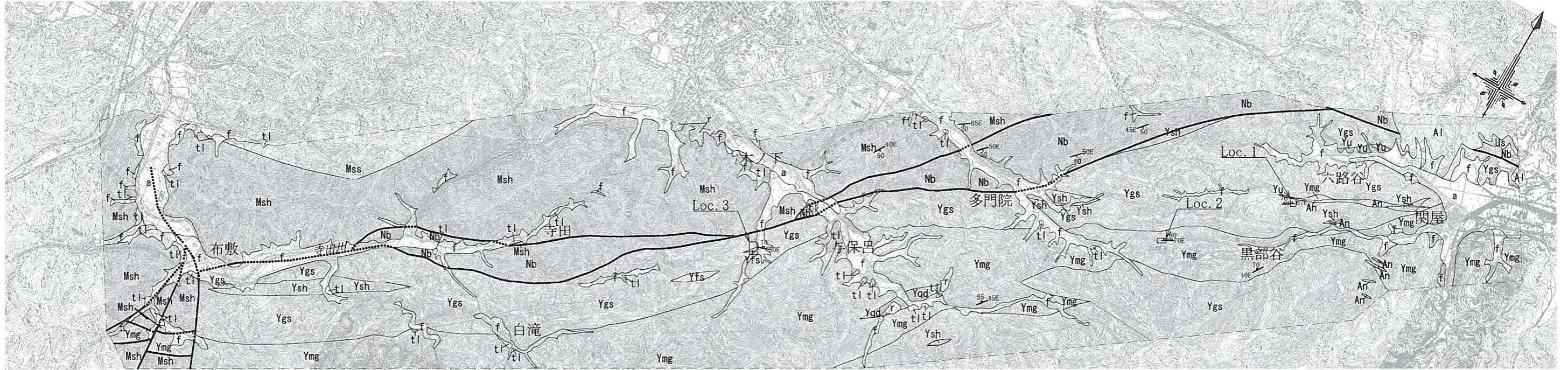
凡例

——	断層
- - - -	伏在断層
- · - ·	推定断層
——	地質境界
20°	層理面の走向傾斜(偏角未補正)
30°E 20°	節理面の走向傾斜(偏角未補正)
30°E 20°	断層面の走向傾斜(偏角未補正)
Loc	詳細調査位置 (ルートマップ、スケッチ等)
□	表示範囲

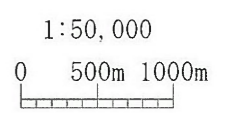
凡例

第四紀	全新世	沖積層	a	礫、砂及び泥
		最低位段丘堆積物	at1	礫、砂及び泥
		崖錐堆積物	dt	礫、砂及び泥
	更新世	新期扇状地堆積物	f	礫、砂及び泥
		低位段丘堆積物	t1	礫、砂及び泥
		中位II段丘堆積物	tm2	礫、砂及び泥
		中位I段丘堆積物	tm1	礫、砂及び泥
第四紀更新世～新第三紀	高位II段丘堆積物	th2	礫、砂及び泥	
	高位I段丘堆積物	th1	礫、砂及び泥	
	岩脈	An	安山岩	
新第三紀中新世	北但層群	丹後層	Tan	安山岩
		網野層	Ttb	含礫軽石質凝灰岩・礫岩
			Adt	石英安山岩質軽石凝灰岩
白亜紀後期～古第三紀	宮津花崗岩	Ams	泥岩・砂岩・礫岩	
		Gr	黒雲母花崗岩	

第1.2.3.1.10図 郷村断層周辺の地質図
1.2.3-72



「この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の2万5千分の1地形図を複製したものである。
(承認番号 平26情複、第211号)」



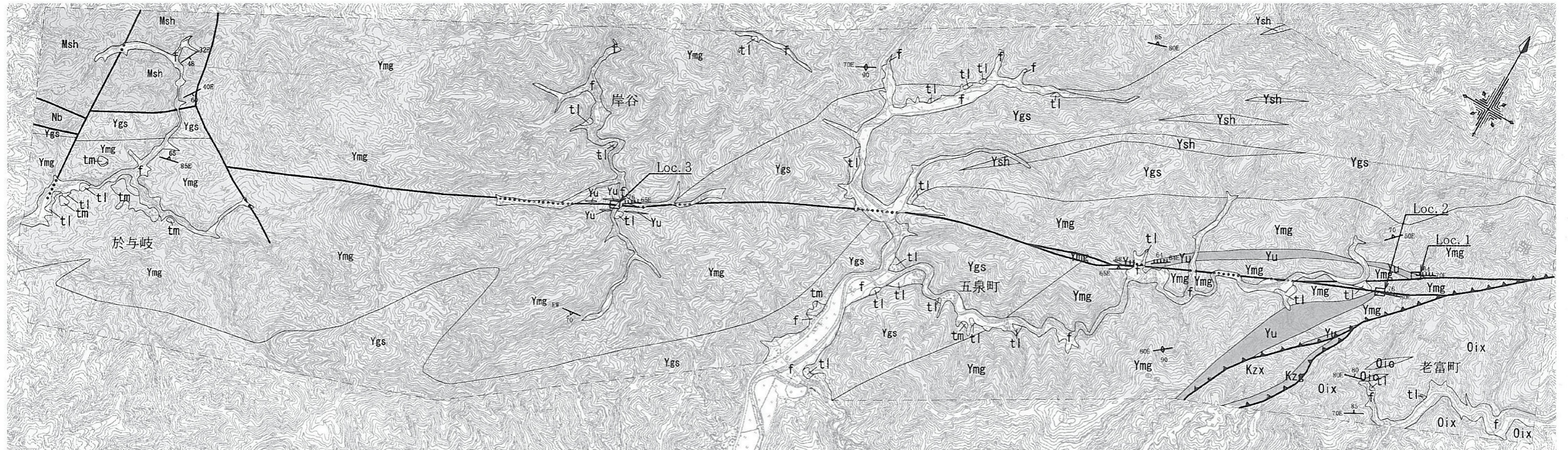
凡 例

—	断層
.....	伏在断層
$\begin{matrix} 30E \\ \backslash \\ 60 \end{matrix}$	層理面の走向傾斜(偏角未補正)
$\begin{matrix} 30E \\ \backslash \\ 60 \end{matrix}$	面構造(へき開面など)の走向傾斜(偏角未補正)
$\begin{matrix} 30E \\ \backslash \\ 60 \end{matrix}$	断層面の走向傾斜(偏角未補正)
$\begin{matrix} 30E \\ \backslash \\ 60 \end{matrix}$	割れ目の走向傾斜(偏角未補正)
Loc	詳細調査位置(ルートマップ、スケッチ等)
□	表示範囲

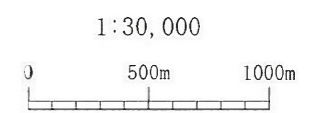
凡 例

第四紀	完新世	人工改変地	r
		沖積層	a 礫, 砂及び泥
		新期扇状地堆積物	f 礫, 砂及び泥
更新世	—	低位段丘堆積物	tl 礫, 砂及び泥
新第三紀	中新世	青葉山安山岩類 下部	AI 凝灰角礫岩
		岩脈	An 安山岩
三疊紀後期	—	内浦層群 塩沢峠礫層・砂岩部層	Us 礫岩・砂岩
		難波江層群	Nb 砂岩及び頁岩
ペルム紀	舞鶴帯	舞鶴層群	Mss 砂岩
			Msh 頁岩
			Ysh 頁岩
			Ygs 緑色岩類
		夜久野	Yfs 珪長岩
		オフィオライト	Yqd 石英閃緑岩
	Ymg 変斑れい岩		
		Yu 超苦鉄質岩	

第1.2.3.1.11図 多門院リニアメント周辺の地質図



「この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の2万5千分の1地形図を複製したものである。
(承認番号 平26情複、第211号)」



凡 例

—	断層
.....	伏在断層
▲	地質体・コンプレックスの境界
30° 50°	面構造 (へき開面など) の走向傾斜 (偏角未補正)
30° 50°	断層面の走向傾斜 (偏角未補正)
□	Loc 詳細調査位置 (ルートマップ、スケッチ等)
□	表示範囲

凡 例

第四紀	更新世	新期扇状地堆積物	f	礫、砂及び泥
		低位段丘堆積物	tl	礫、砂及び泥
		中位段丘堆積物	tm	礫、砂及び泥
ペルム紀 中～後期	超丹波帯	上月層	Kzx	泥質混在岩及び頁岩 (砂岩、チャートを伴う)
		大飯層	Kzg	緑色岩類 (チャートを伴う)
			Oix	頁岩 (砂岩・チャートを伴う)
三疊紀後期	舞鶴層群		Oic	チャート
			Nb	砂岩及び頁岩
			Msh	頁岩
ペルム紀	舞鶴帯		Ysh	頁岩
			Ygs	緑色岩類
			Ymg	変斑れい岩
		Yu	超苦鉄質岩	

第1.2.3.1.12図 岸谷リニアメント周辺の地質図



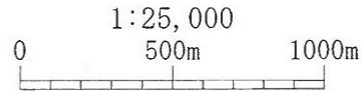
地形面の凡例

tm	中位段丘面
tl	低位段丘面
f	新期扇状地面
dt	崖錐面
a	沖積面
r	人工改変地

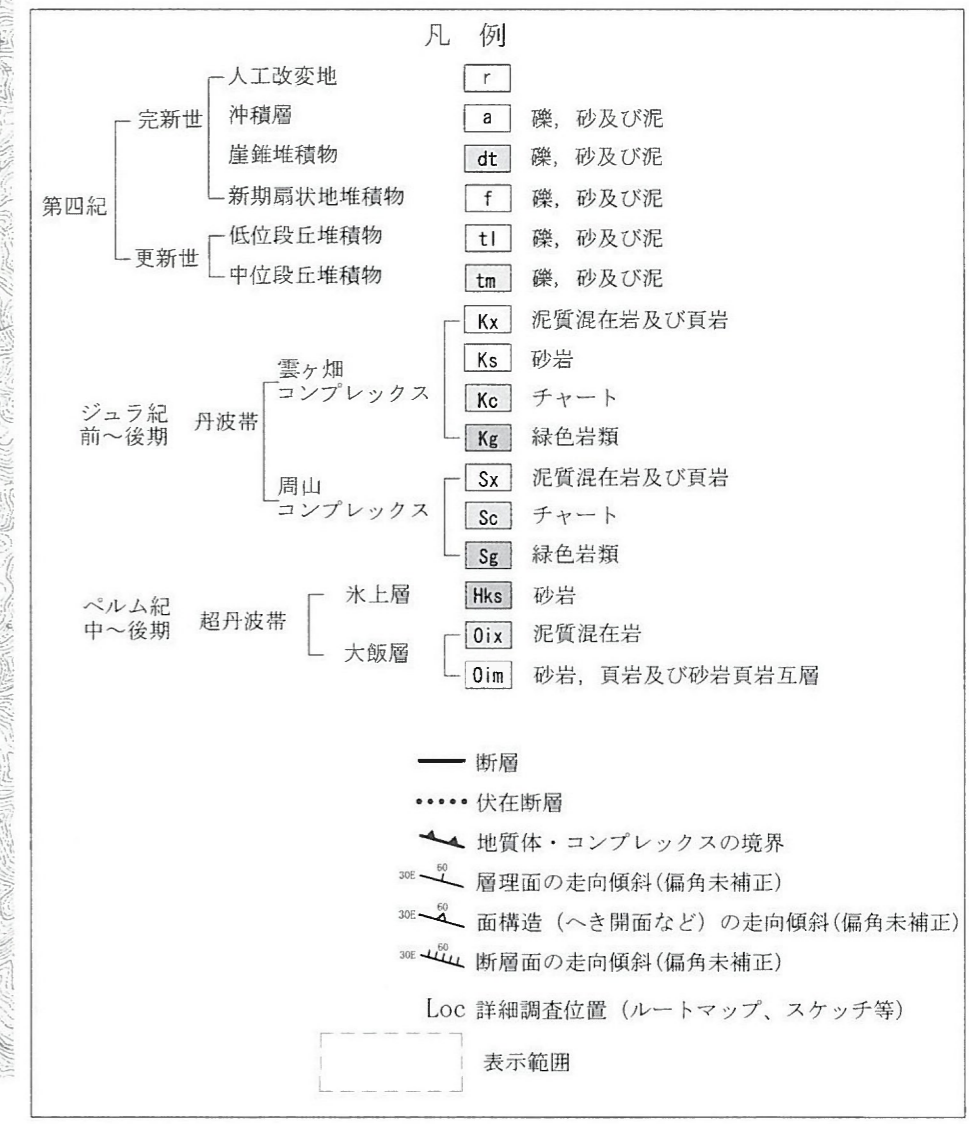
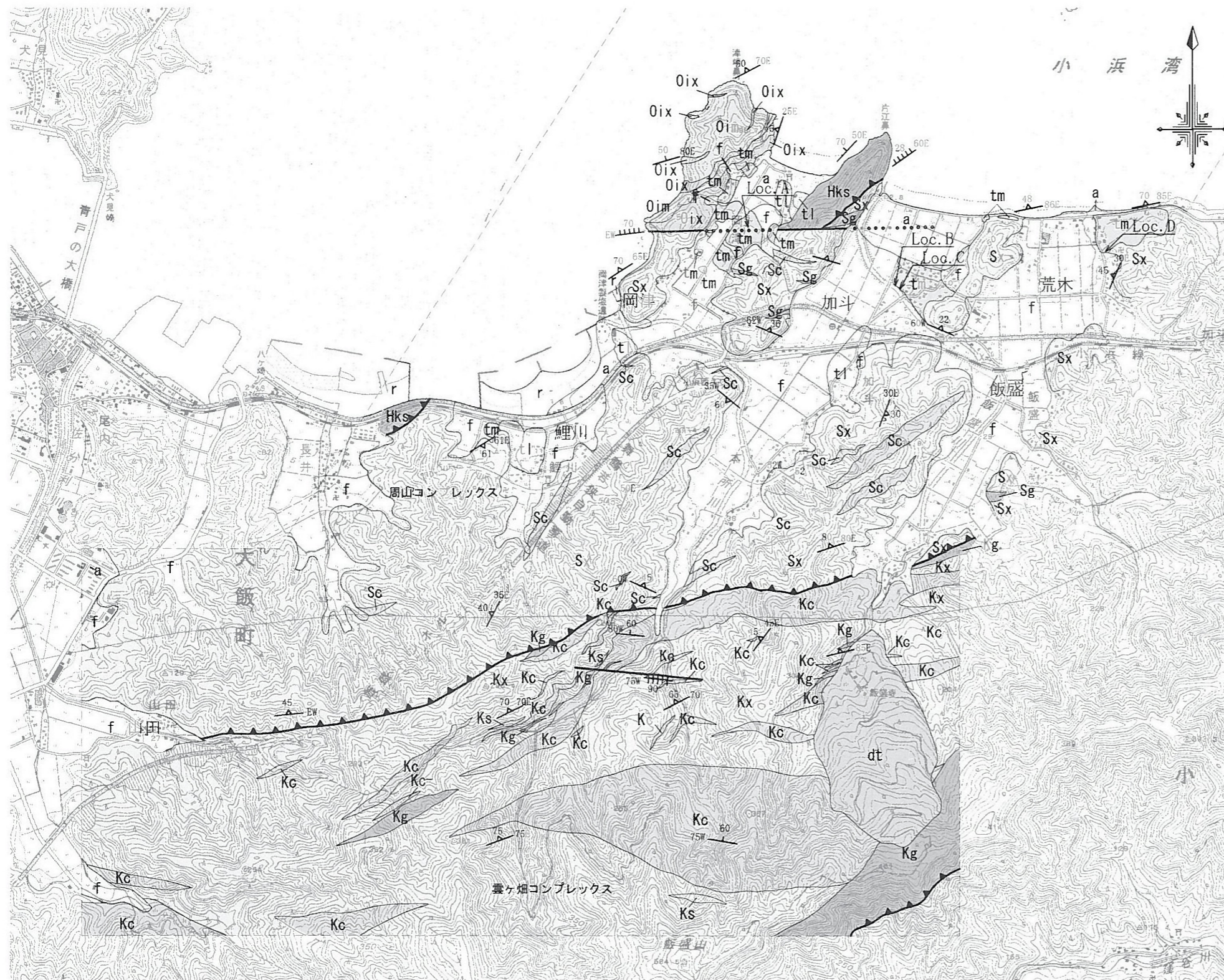
変動地形・リニアメントの凡例

	Dランク
短線は低い側を示す。矢印は尾根、谷の屈曲方向を示す。短線がないリニアメントは両側で高度の不連続が認められないもの。	
	谷の屈曲
I	リニアメント番号
Loc	詳細調査位置 (ルートマップ、スケッチ等)
	表示範囲

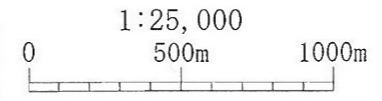
「この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の2万5千分の1地形図を複製したものである。(承認番号 平26情複、第211号)」



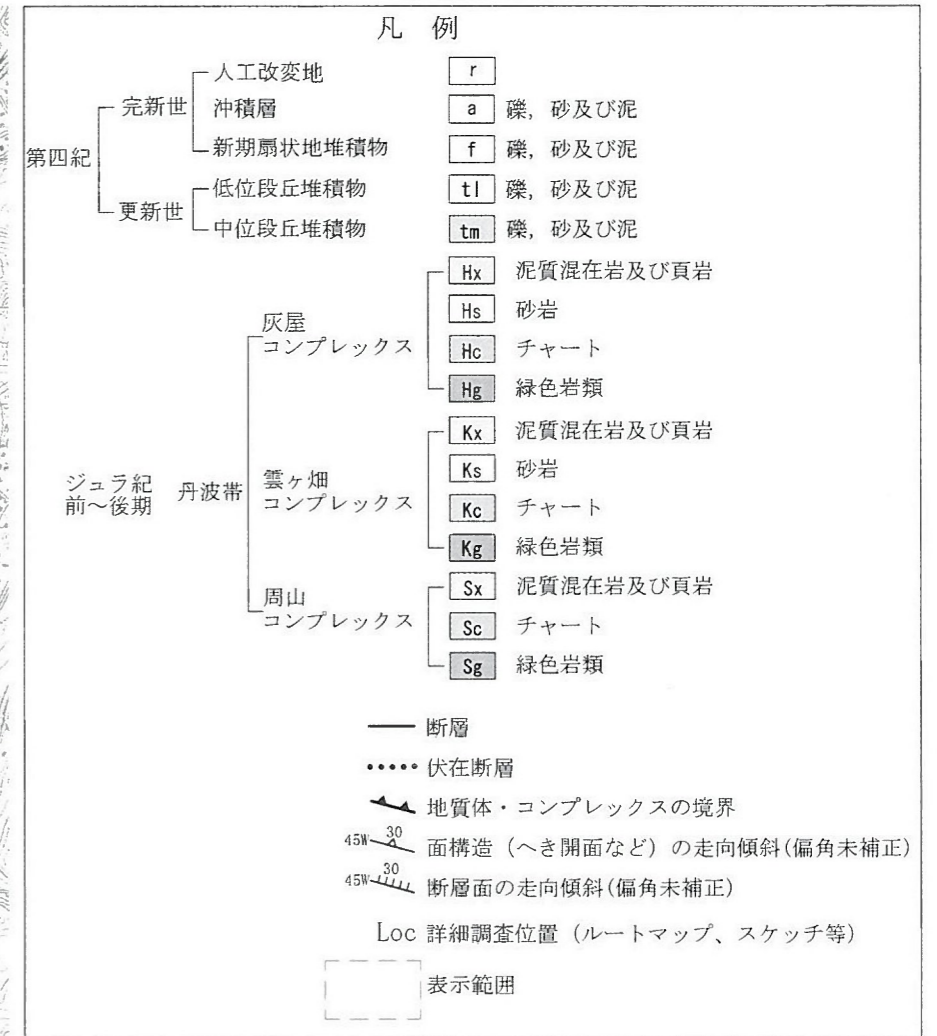
第1.2.3.1.13図 加斗リニアメント周辺の地形調査結果



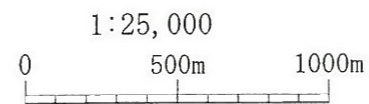
「この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の2万5千分の1地形図を複製したものである。(承認番号 平26情複、第211号)」



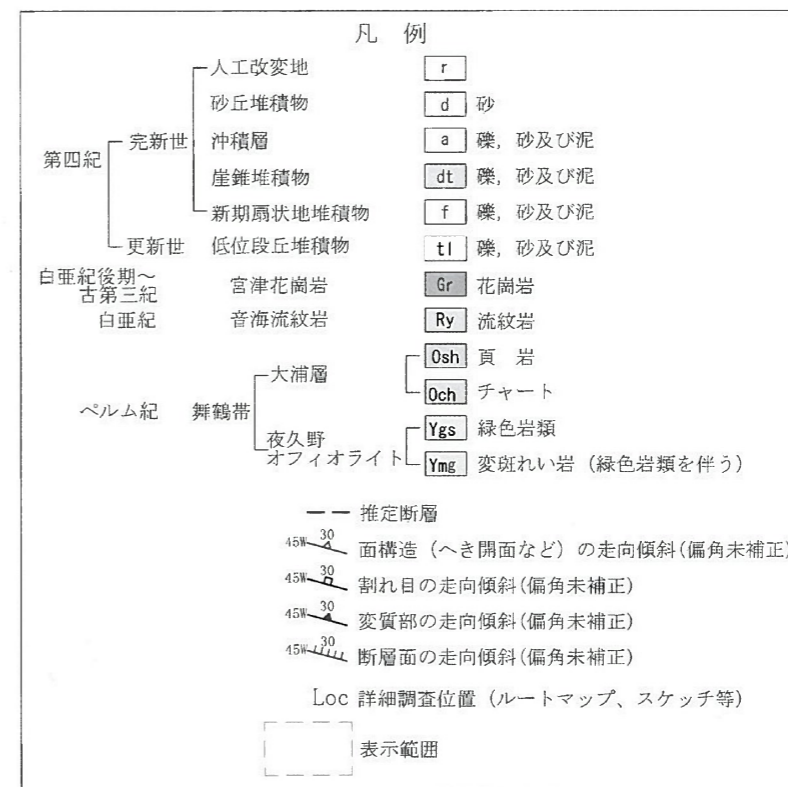
第1.2.3.1.14図 加斗リニアメント周辺の地質図



「この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の2万5千分の1地形図を複製したものである。
(承認番号 平26情複、第211号)」

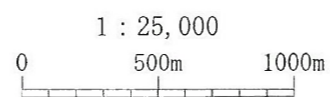


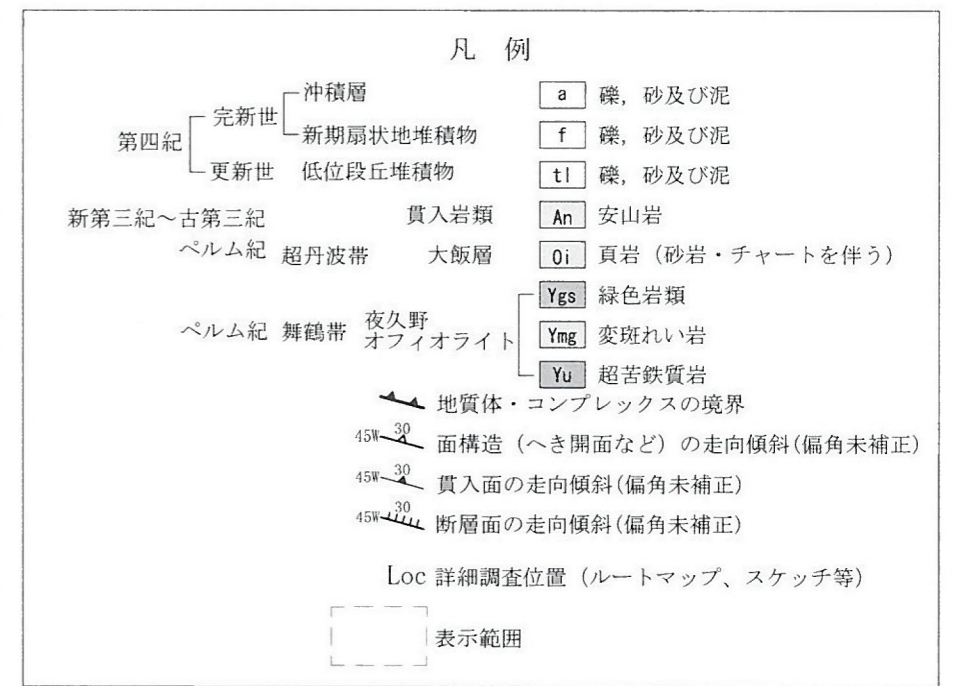
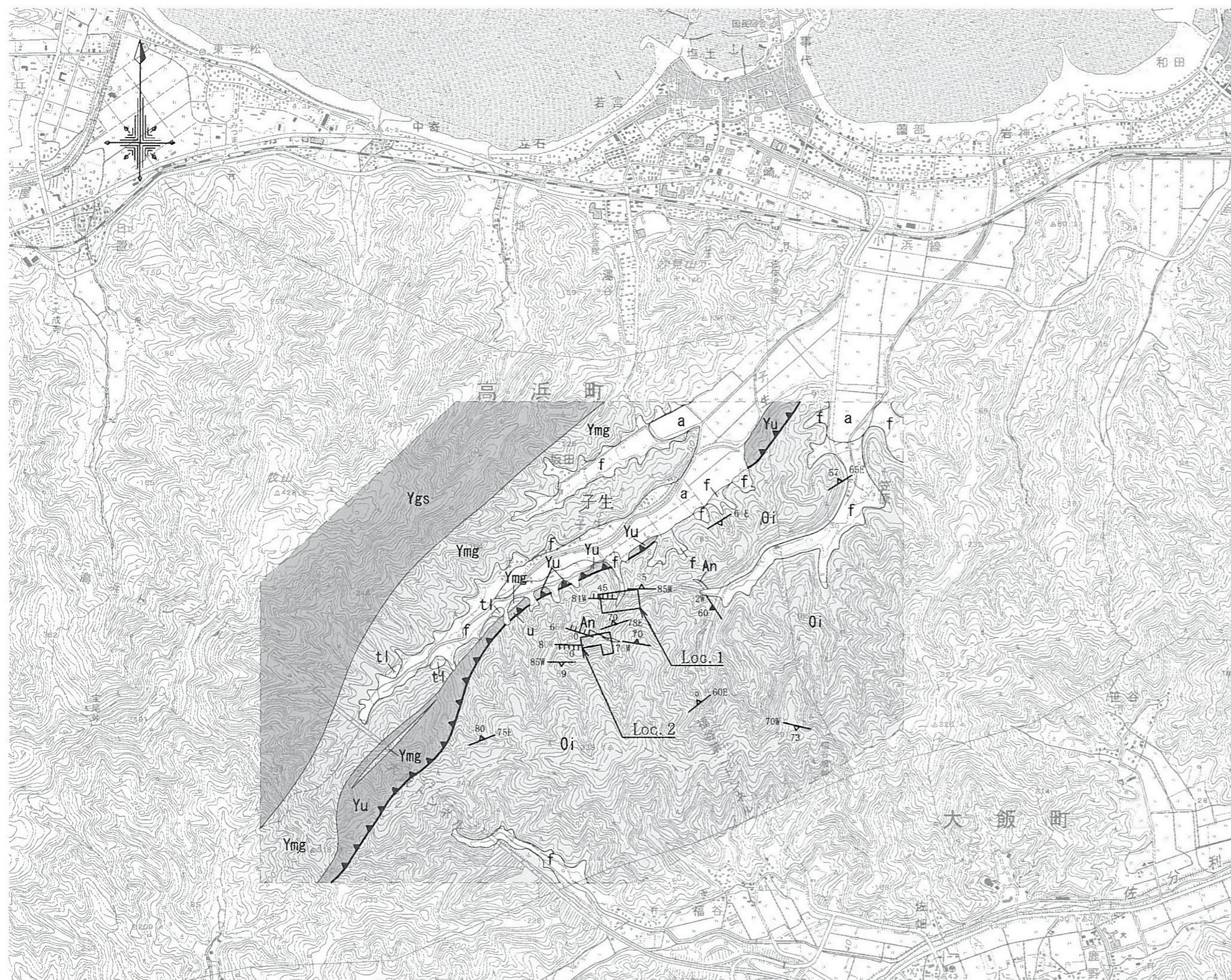
第1.2.3.1.15図 中井リニアメント周辺の地質図



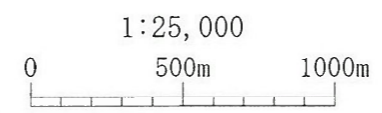
第1.2.3.1.16図 三浜峠リニアメント周辺の地質図

「この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の2万5千分の1地形図を複製したものである。(承認番号 平26情複、第211号)」

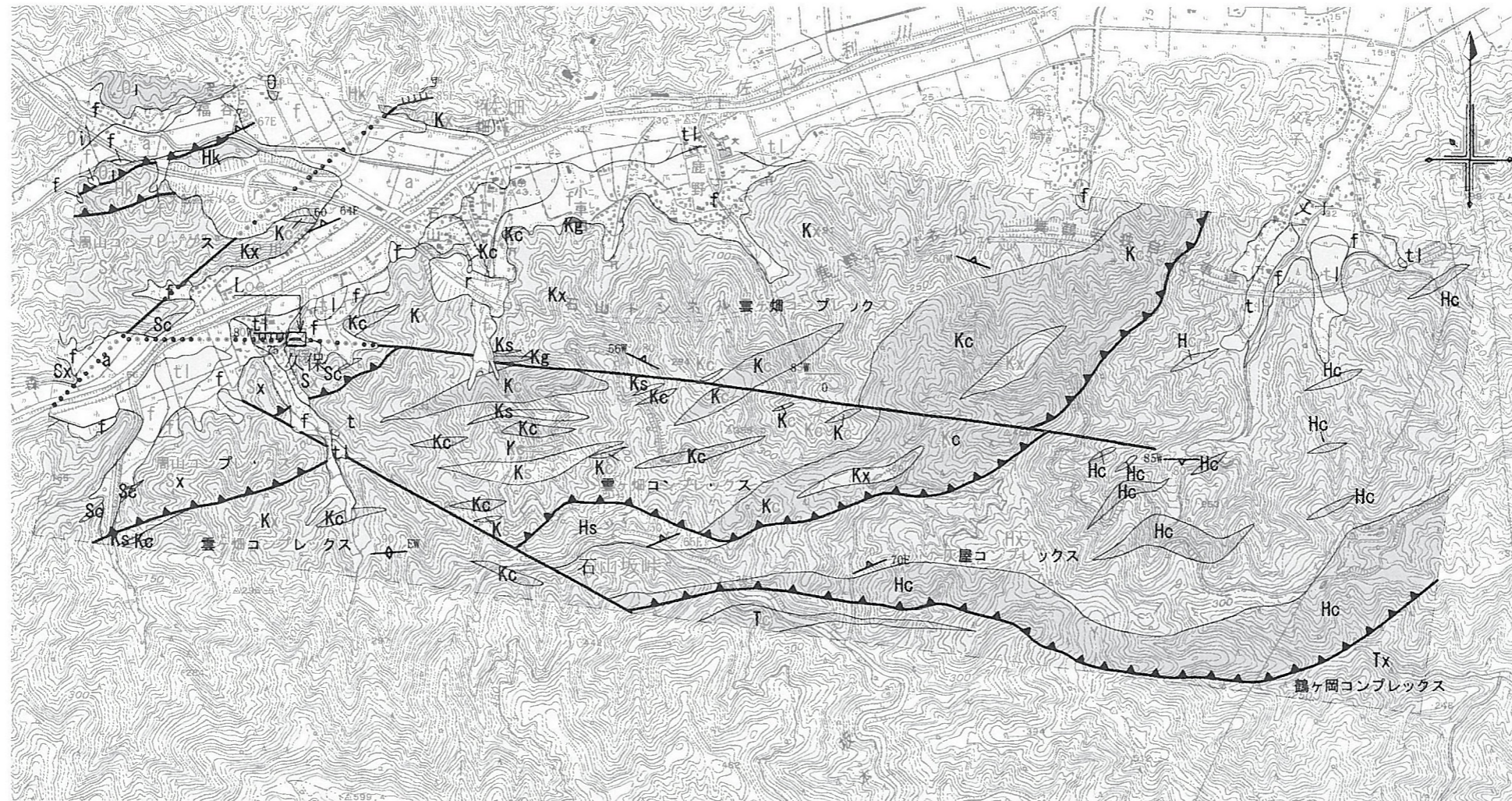




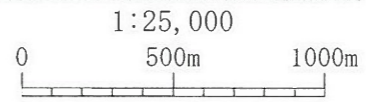
「この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の2万5千分の1地形図を複製したものである。
(承認番号 平26情複、第211号)」



第1.2.3.1.17図 子生リニアメント周辺の地質図



「この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の2万5千分の1地形図を複製したものである。
(承認番号 平26情複、第211号)」



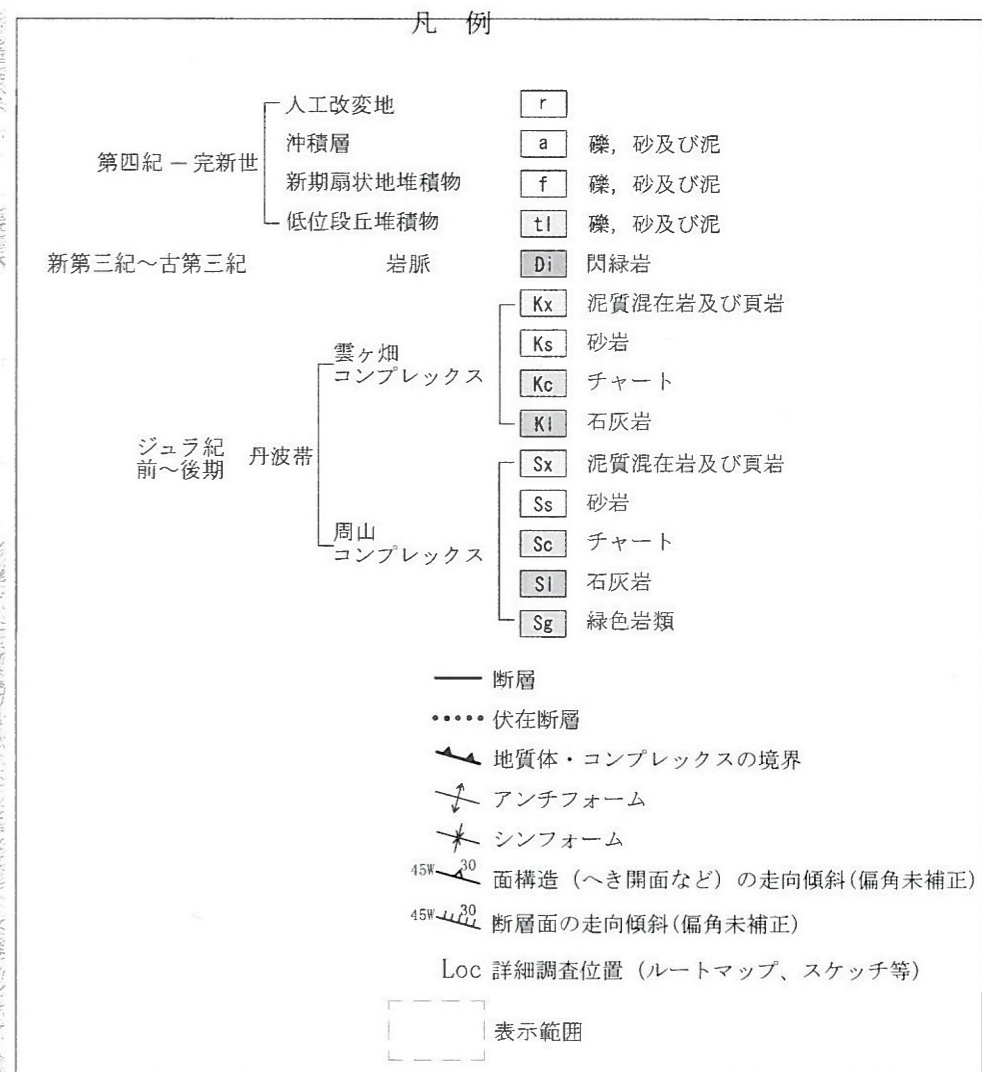
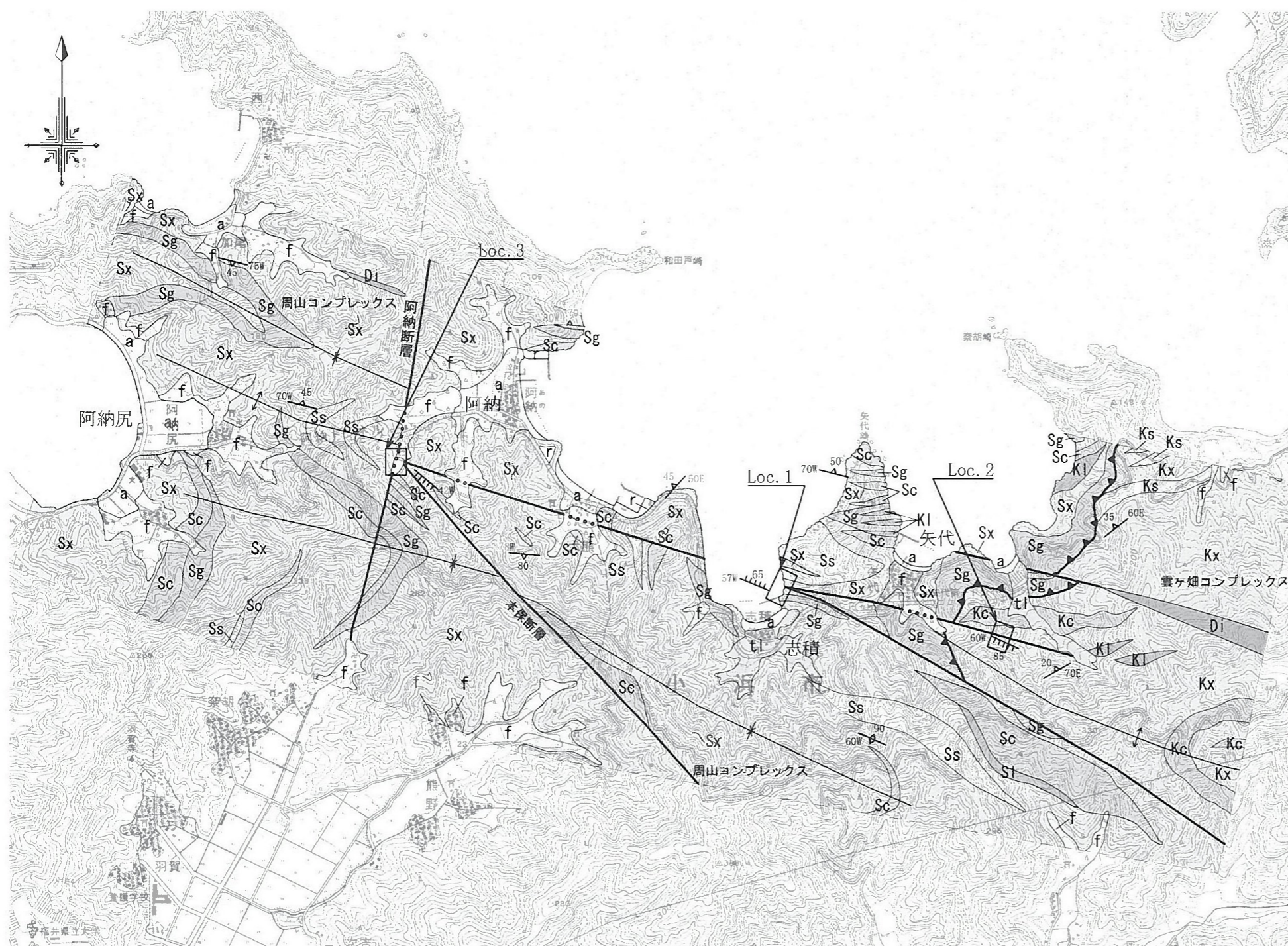
凡例

—	断層
.....	伏在断層
▲▲▲	地質体・コンプレックスの境界
30°	面構造(へき開面など)の走向傾斜(偏角未補正)
30°	断層面の走向傾斜(偏角未補正)
Loc	詳細調査位置(ルートマップ、スケッチ等)
[]	表示範囲

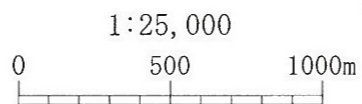
凡例

第四紀	人工改変地	r	
	完新世 沖積層	a	礫、砂及び泥
	新期扇状地堆積物	f	礫、砂及び泥
	更新世 低位段丘堆積物	tl	礫、砂及び泥
ジュラ紀 前~後期	鶴ヶ岡 コンプレックス	Tx	泥質混在岩及び頁岩
		Tc	チャート
		Hx	泥質混在岩及び頁岩
		Hs	砂岩
	灰屋 コンプレックス	Hc	チャート
		Kx	泥質混在岩及び頁岩
		Ks	砂岩
	雲ヶ畑 コンプレックス	Kc	チャート
		Kg	緑色岩類
		Sx	泥質混在岩及び頁岩
周山 コンプレックス	Sc	チャート	
ペルム紀 中~後期	超丹波帯	Hk	砂岩(頁岩を伴う)
		Oi	頁岩(砂岩・チャートを伴う)

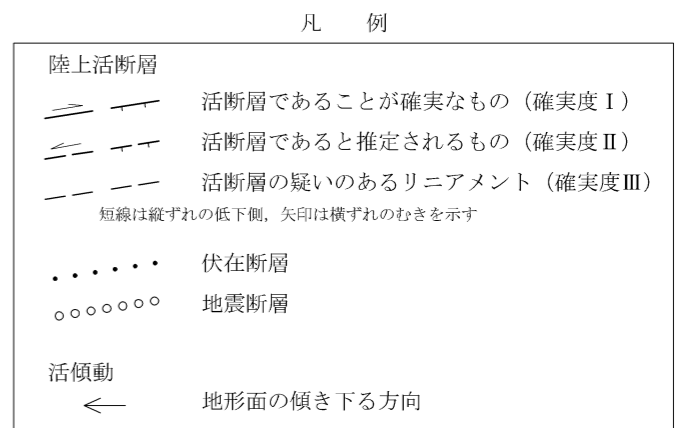
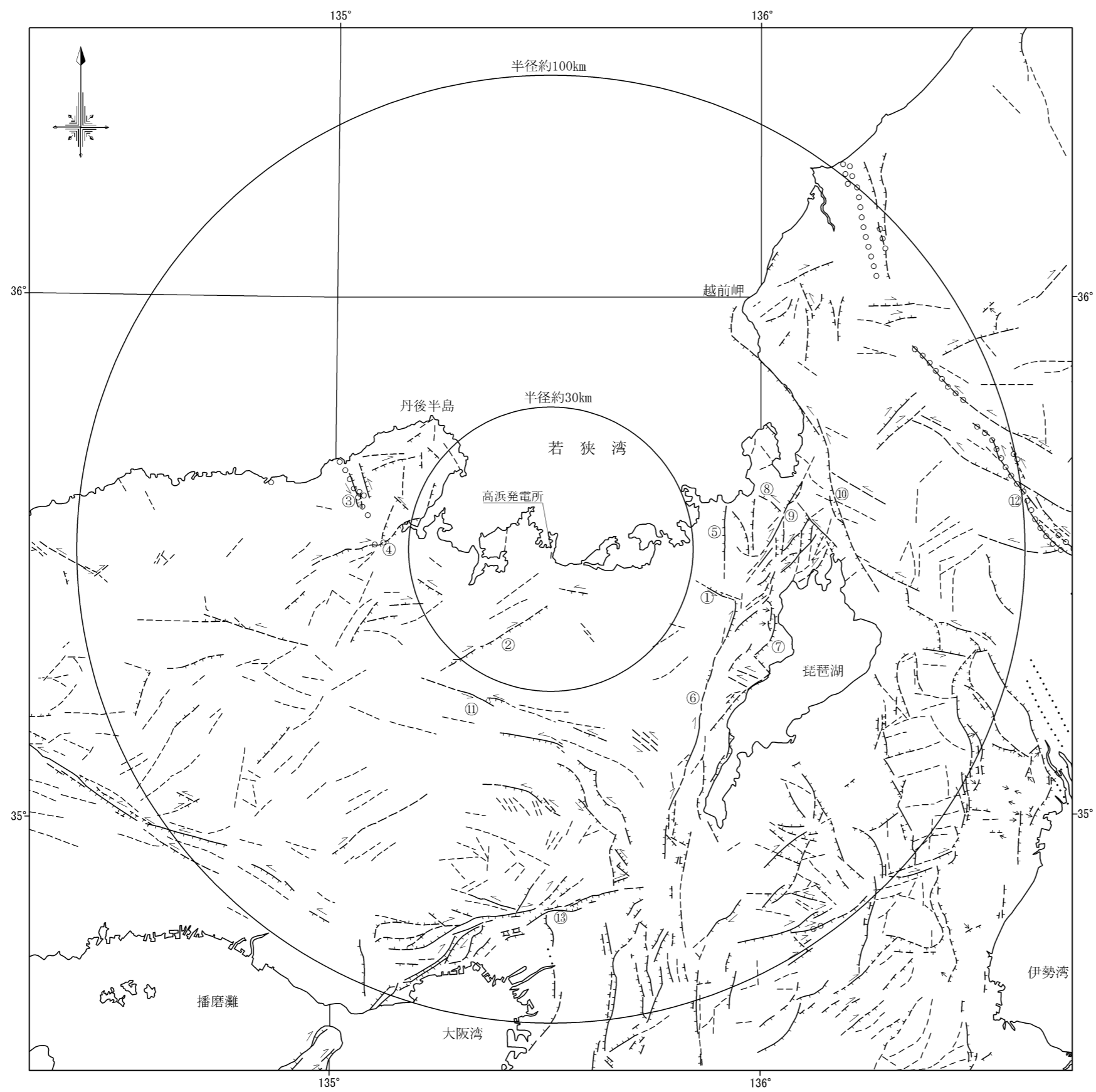
第1.2.3.18図 石山坂峠北リニアメント周辺の地質図



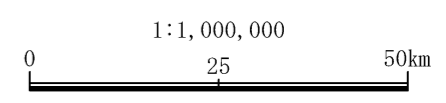
「この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の2万5千分の1地形図を複製したものである。(承認番号 平26情複、第211号)」



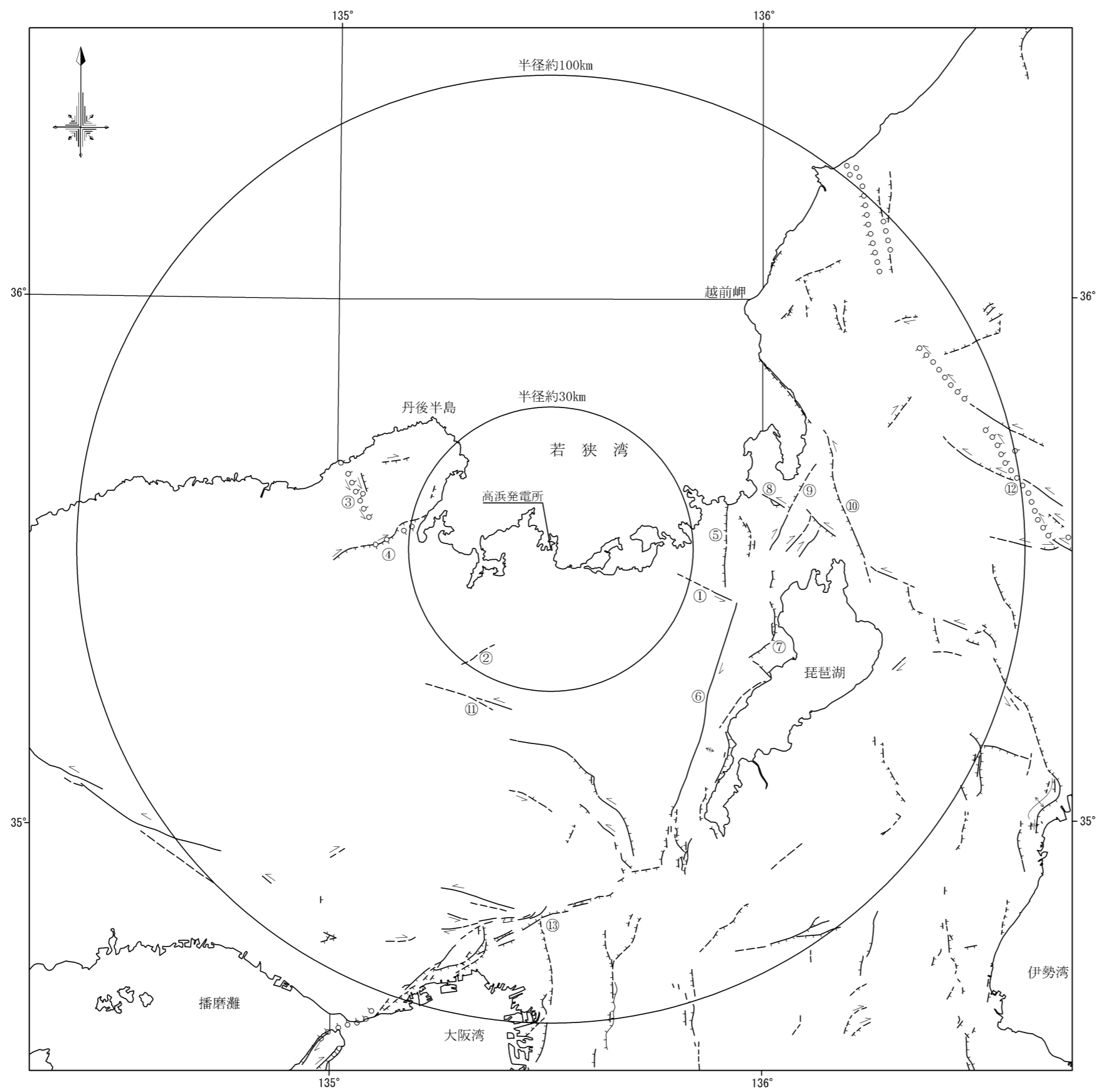
第1.2.3.1.19図 矢代リニアメント周辺の地質図



①	熊川断層
②	上林川断層
③	郷村断層
④	山田断層
⑤	三方断層
⑥	花折断層
⑦	琵琶湖西岸断層系
⑧	野坂断層
⑨	敦賀断層
⑩	柳ヶ瀬断層
⑪	三峠断層
⑫	濃尾地震断層系
⑬	有馬-高槻構造線



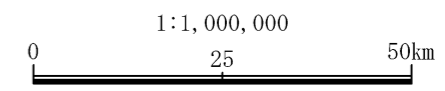
第1.2.3.1.20図 敷地周辺陸域の活断層分布図「[新編]日本の活断層」(半径約100km)



凡 例

○○○○○○	地震断層
————	活断層 (主として第四紀後期に活動したもの)
- - - - -	推定活断層 (同上)
○○○○○→	上記の断層における変位の向き (矢印は走向ずれの方向, ケバは落下側を示す)
↕	第四紀後期層の背斜軸

①	熊川断層
②	上林川断層
③	郷村断層
④	山田断層
⑤	三方断層
⑥	花折断層
⑦	琵琶湖西岸断層系
⑧	野坂断層
⑨	敦賀断層
⑩	柳ヶ瀬断層
⑪	三峠断層
⑫	濃尾地震断層系
⑬	有馬-高槻構造線

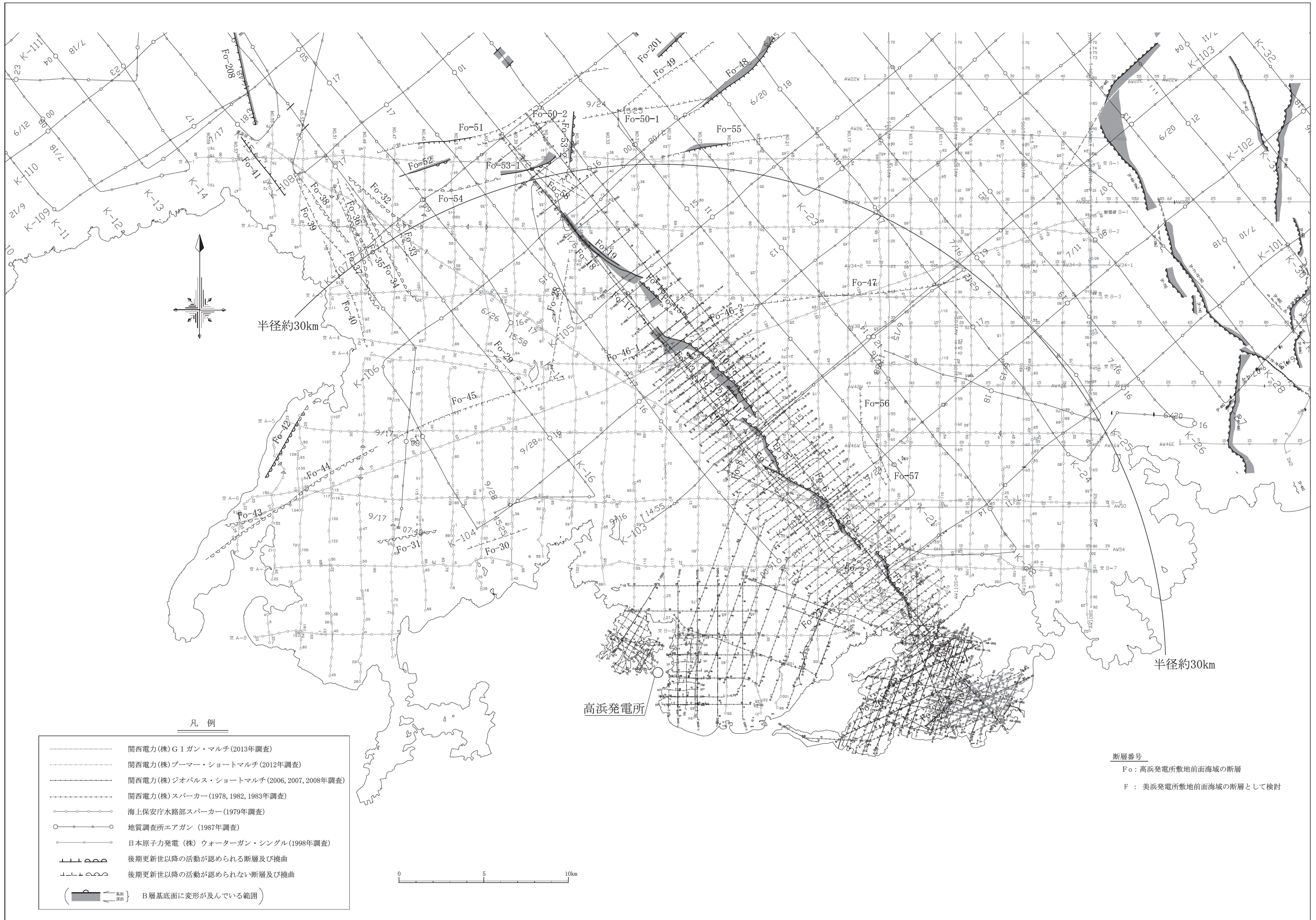


※ 『50万分の1活構造図「岡山」「金沢」「京都(第2版)」』より作成

第1.2.3.1.21図 敷地周辺陸域の活断層分布図「活構造図」
(半径約100km)



第1.2.3.1.22図 敷地前面海域の海底地質図



凡例

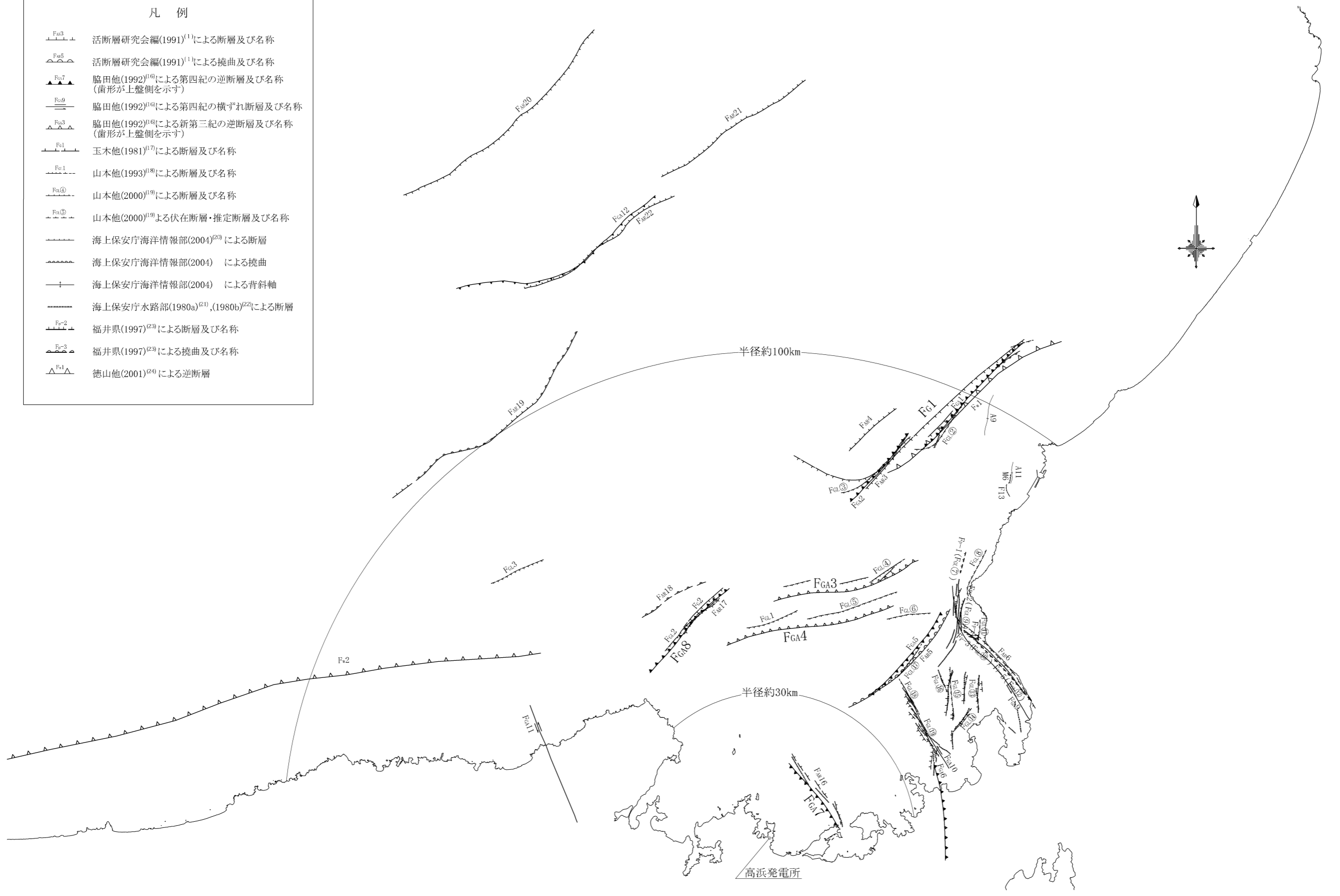
- 関西電力(株)G I ガン・マルチ(2013年調査)
- - - 関西電力(株)ブーマー・ショートマルチ(2012年調査)
- 関西電力(株)ジオバルス・ショートマルチ(2006, 2007, 2008年調査)
- 関西電力(株)スパーカー(1978, 1982, 1983年調査)
- ○ ○ 海上保安庁水路部スパーカー(1979年調査)
- ○ ○ 地質調査所エアガン(1987年調査)
- ○ ○ 日本原子力発電(株)ウォーターガン・シングル(1998年調査)
- ||||| 後期更新世以降の活動が認められる断層及び拗曲
- ||||| 後期更新世以降の活動が認められない断層及び拗曲
- { } B層基底面に変形が及んでいる範囲

- 断層番号
- Fo : 高浜発電所敷地前面海域の断層
 - F : 美浜発電所敷地前面海域の断層として検討

第1.2.3.1.23図 敷地前面海域の断層分布図

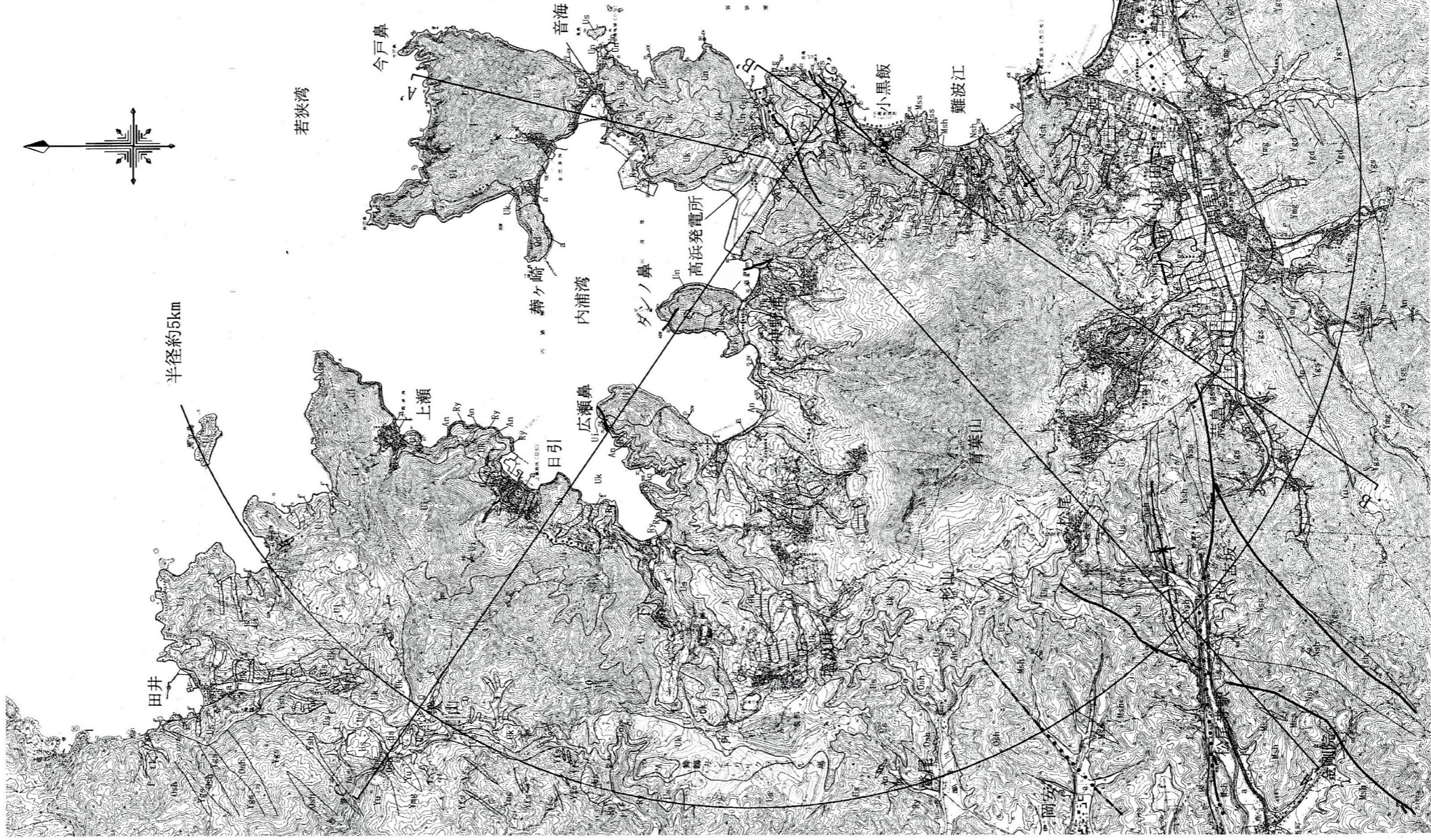
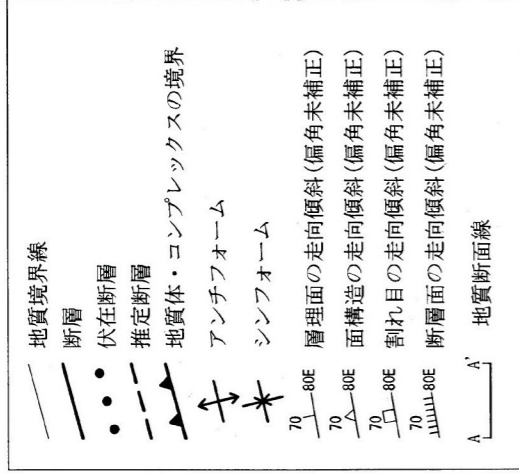
凡 例

	活断層研究会編(1991) ⁽¹⁾ による断層及び名称
	活断層研究会編(1991) ⁽¹⁾ による撓曲及び名称
	脇田他(1992) ⁽¹⁶⁾ による第四紀の逆断層及び名称 (歯形が上盤側を示す)
	脇田他(1992) ⁽¹⁶⁾ による第四紀の横ずれ断層及び名称
	脇田他(1992) ⁽¹⁶⁾ による新第三紀の逆断層及び名称 (歯形が上盤側を示す)
	玉木他(1981) ⁽¹⁷⁾ による断層及び名称
	山本他(1993) ⁽¹⁸⁾ による断層及び名称
	山本他(2000) ⁽¹⁹⁾ による断層及び名称
	山本他(2000) ⁽¹⁹⁾ による伏在断層・推定断層及び名称
	海上保安庁海洋情報部(2004) ⁽²⁰⁾ による断層
	海上保安庁海洋情報部(2004) による撓曲
	海上保安庁海洋情報部(2004) による背斜軸
	海上保安庁水路部(1980a) ⁽²¹⁾ , (1980b) ⁽²²⁾ による断層
	福井県(1997) ⁽²³⁾ による断層及び名称
	福井県(1997) ⁽²³⁾ による撓曲及び名称
	徳山他(2001) ⁽²⁴⁾ による逆断層



第1.2.3.1.24図 敷地周辺海域の主要断層分布図

凡例



地質時代		記号	地層名等	主要構成地層
第四紀	完新世	r	人工改変地	
	新世	a	沖積層	礫, シルト, 粘土
		f	新期扇状地堆積物	礫, 砂, シルト
第三紀	新第三紀	tl	低位段丘堆積物	礫, 砂, シルト
		A	青葉山安山岩類	安山岩, 凝灰角礫岩
	O	大山安山岩	安山岩, 凝灰角礫岩	
	Qd	石英閃緑岩	石英閃緑岩	
	白亜紀	Ui	今戸鼻層	安山岩, 凝灰角礫岩
		Uk	内浦層群	泥岩
			下層	凝灰角礫岩, 砂岩
			上層	凝灰角礫岩, 安山岩
	Ry	音海流紋岩	流紋岩, 流紋岩質凝灰岩	
	中生代	Nss		砂岩
Nsh		難波江層群	頁岩	
Na1			砂岩頁岩互層	
古生代	ペルム紀	UT sh	大飯層(UT2コノノレツクス)	頁岩
		Mss		砂岩
	Msh		頁岩	
	Mgs	舞鶴層群	緑色岩類	
	Osh	大浦層	頁岩	
	Ysh		頁岩	
	Yfs		珪長岩	
	Ygd	夜久野ワカ7付	石英閃緑岩	
	Ygs		緑色岩類	
	Ymg		変斑れい岩	
Yu		超苦鉄質岩		
新第三紀~白亜紀後期	An	岩脈	安山岩	



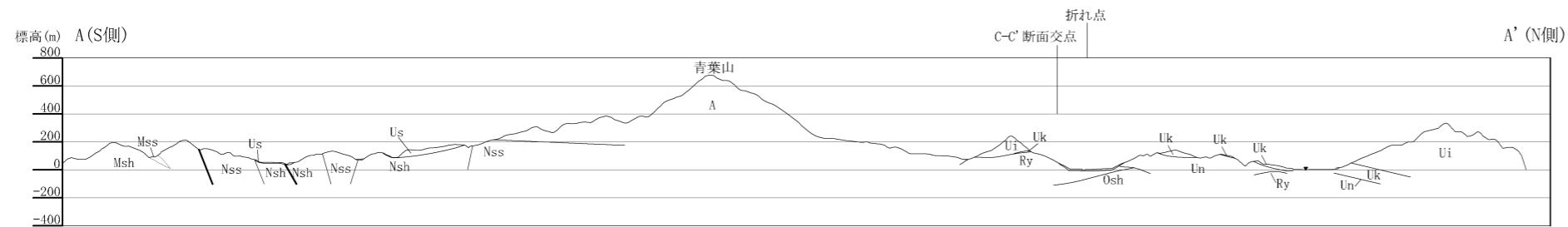
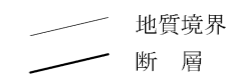
「この地図の一部につき、国土地理院長の承認を得て、同院発行の2万5千分の1地形図を複製したものである。(承認番号 平27情復、第259号)」

第1.2.3.2.1図 敷地近傍の地質図

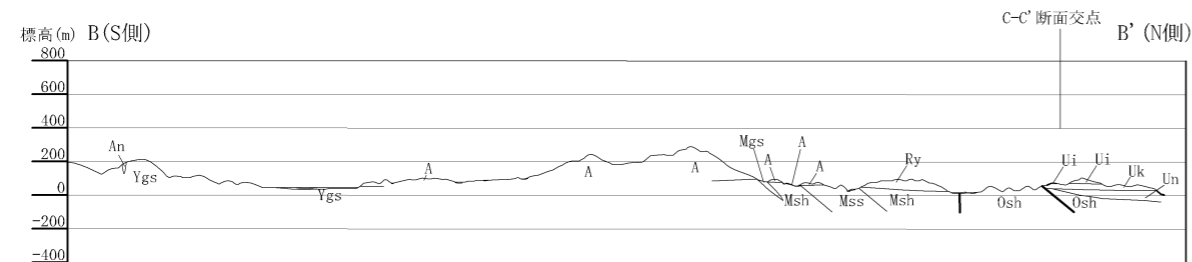
地質凡例

地質時代	記号	地層名等	主要構成地層		
新生代	第四紀	更新世	r 人工改変地		
		完新世	a 沖積層	礫, 砂, シルト, 粘土	
			f 新期扇状地堆積物	礫, 砂, シルト	
			tl 低位段丘堆積物	礫, 砂, シルト	
	新第三紀	A 青葉山安山岩類	安山岩, 凝灰角礫岩		
		O 大山安山岩	安山岩, 凝灰角礫岩		
		Qd 石英閃緑岩	石英閃緑岩		
		内浦層群	Ui 今戸鼻層	安山岩, 凝灰角礫岩	
			下層	Uk 神野浦頁岩部層	泥岩
				Us 塩浜峠礫岩・砂岩部層	礫岩, 砂岩
Un 名島火山岩部層	安山岩, 凝灰角礫岩				
中生代	白亜紀	Ry 音海流紋岩	流紋岩, 流紋岩質凝灰岩		
	三畳紀	Nss	砂岩		
		Nsh	難波江層群	頁岩	
		Na1	砂岩頁岩互層		
古生代	ペルム紀	UTsh 大飯層 (UT2コンプレックス)	頁岩		
		舞鶴層群	Mss	砂岩	
			Msh	頁岩	
			Mgs	緑色岩類	
	Osh 大浦層	頁岩			
	ペルム紀	夜久野オフィオライト	Ysh	頁岩	
			Yfs	珪長岩	
			Ygd	石英閃緑岩	
			Ygs	緑色岩類	
			Ymg	変斑れい岩	
Yu			超苦鉄質岩		
新第三紀～白亜紀後期	An	岩脈	安山岩		

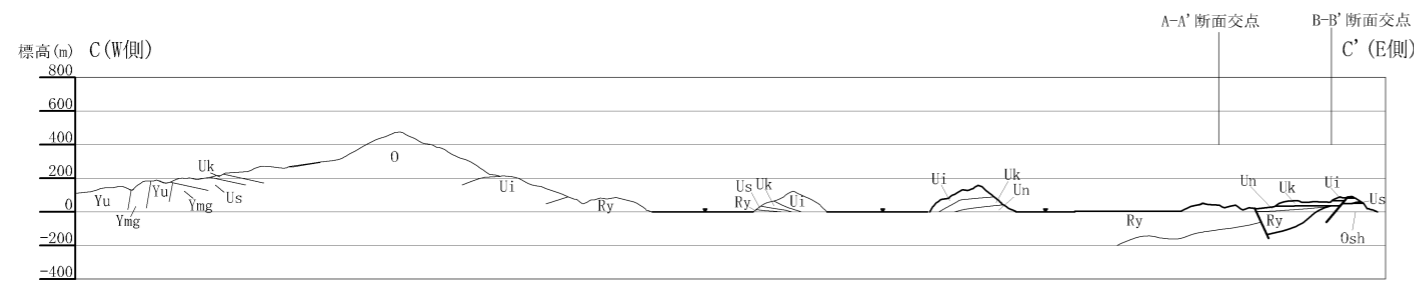
断面位置は第1.2.3.2.1図に示す。



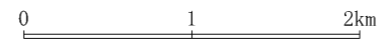
高浜 A-A' 断面



高浜 B-B' 断面



高浜 C-C' 断面



第1.2.3.2.2図 敷地近傍の地質断面図